

### わさび振興事業 について

**問** わさび振興事業費の内容は。

**答** わさび生産者協議会への負担金と、わさびバイオ公社の補助金である。

**問** 農業活性化費にわさびの項目が見えていない。遠野市のブランドとして、全国生産量3〜4位にあるわさびの振興を真剣に考えるべきでは。

**答** バイオ公社と生産者が一体となった出荷体制を協議しながら振興を図る。

**問** わさび栽培に適した遠野の資源を活かす取り組み姿勢を持って、農家の所得向上に繋げるような考えを伝えていくべきでは。

**答** 一定量の確保で有利な販売ができれば後継者も育つと考えられるので、市としても研修など

支援しながらわさびの振興にあたりたい。



遠野の名産品であるわさび

### しいたけの振興対策 について

**問** しいたけの生産振興が新年度予算に見えないが。

**答** 種駒や原木への助成をしている。森林組合でも種駒助成を行う。今後、生産振興にどういう支援が良いのか見極めた

**問** ナラ枯れ病への危機感が高まっている。森林の健全化を踏まえ、適正伐採することで資源がし

いたけ原木の活用に結びつくのでは。

**答** ナラ枯れ病は昨年岩手県で確認された。高齢木が被害を受けやすく、早期に活用することが基本。ナラ枯れ病になる前に活用し、重要である原木しいたけの生産振興に取り組みたい。

**問** 原木しいたけを遠野ブランドとして取り組む考えは。

**答** 中山間地域の特徴に適した品目であり、今後産地としての取り組みをしたい。



ホダ木

### アグリスクール について

**問** 遠野ふるさとアグリスクールの事業費の内容は。

**答** 新規に、国内外研修を実施するもので、国内については6ヵ月以上、国外については12ヵ月から18ヵ月の研修期間として、実施するものである。

**問** 新規就農対策として、研修予定者を確実に確保できるか。

**答** 国内外2名ずつを予定し、23年度卒業する緑峰高校と県立農業者大学校生を対象に説明会を実施して取り組む。

**問** 将来の遠野市をつくる人材育成に寄与する事業と考える、確実に実行するための方策は。

**答** 遠野農業の先進的な農業経営を展開する、若い人材を育成するため、全力で取り組む。

### 消防庁舎の跡地利用 について

**問** 現消防庁舎移転後の消防力の確保について問う。

**答** 新消防庁舎の移転供用開始に伴い、現庁舎の機械等の移設を行ってから現在の庁舎は取り壊しを行い更地にする予定。その後の跡地利用は、「市長と語るう会」での

市民からの意見や、昨年11月から各関係課による「跡地利用に係る検討会」を開催し、議論と検討をしている。当該地区の住民の地域環境や地域づくりに対する考え方や意見などを聞きながら、総合的に有効な活用を進めることが最も大切であり、防災活動の重要な実践部隊である消防団組織とも意見交換や協議をしていかなければならない。現状では課題の把握と市民からの意見集約の段階で、23年度の早い時期にこれらを集約し、方針を定めるよう進めていく。